

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

Spring 2021

APR.-JUN.

115

歴史の
新しい
体験。



特集

ホー・ツーニエン

「ヴォイス・オブ・ヴォイド—虚無の声」展

C O N T E N T S

特集

03 歴史の新しい体験。

ホー・ツーニエン

「ヴォイス・オブ・ヴォイドー虚無の声」展

08 any 通信

- ◎アーティストボイス 水沢なお (詩人)
- ◎お先に試写しました 「声優夫婦の甘くない生活」(監督:エフゲニー・ルーマン)
- ◎読書の窓 アイザック・アシモフ 『われはロボット』
- ◎MYTOOL 「水筒2本」 渡辺千絵 (中原中也記念館 副館長)
- ◎ふりかえり any any vol.100

ピックアップイベント

10 山口情報芸術センター
「YCAM スポーツ共創実験スタジアム2021」+
「第6回 未来の山口の運動会」
スポーツは作れる! みんなでやる!

ホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイドー虚無の声」展
関連上映プログラム「戦場のメリークリスマス」ほか
映画からホー・ツーニエンの展覧会の世界に触れる

中原中也記念館

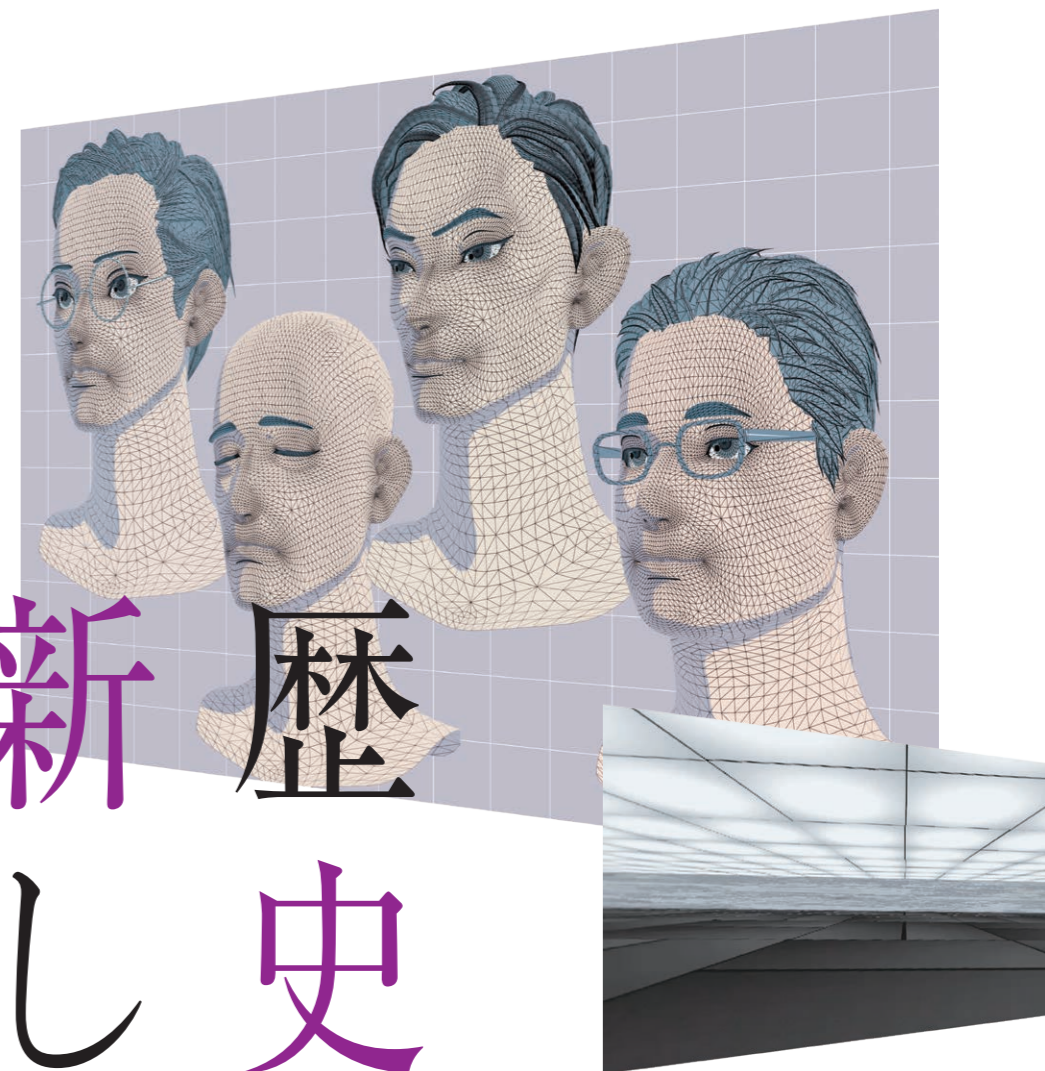
企画展I「中也、この一篇——『正午』」
詩「正午」を通じて昭和と中也を知る

山口市民会館

DRUM TAO「祭響 =SAIKYO=」
驚異の和太鼓エンターテインメント!

13 観た! 聴いた! みんなのレビュー Special

14 イベントカレンダー 4~6月
INFORMATION



歴史の新しい体験。

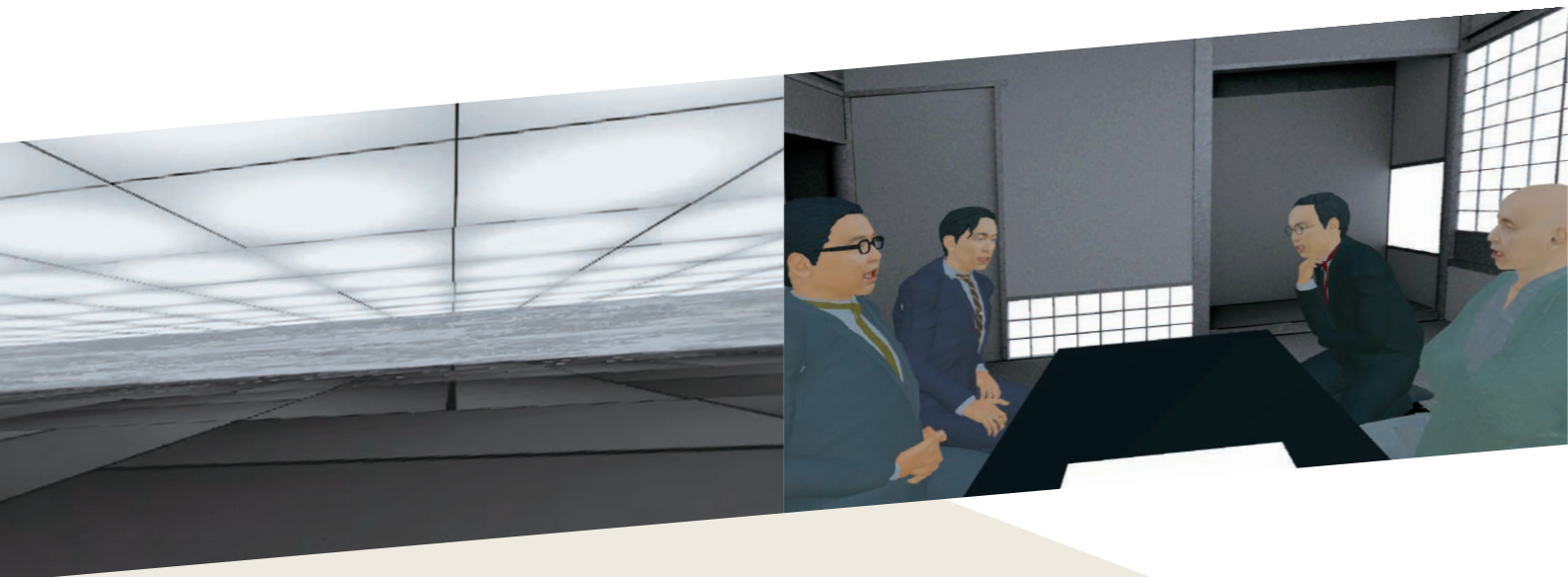


※p.2~7のイメージ画像は「ヴォイス・オブ・ヴォイド(ワークインプログレス)」のVR映像より抜粋

一九三〇年代から四〇年代の日本の思想界で大きな影響力を
持った「京都学派」をテーマに、YCAMとのコラボレーション
のもと、VR(ヴァーチャリアリティ)とアニメーションによる新
作の映像インスタレーションを発表します。この展
覧会で私たちは何が体験できるのか!?この度
企画を担当するYCAMの吉崎和彦さん
に展覧会の狙いをお聞きしました。

山口情報芸術センター「YCAM」では、この春、シンガポールを拠点に活躍する
アーティスト、ホー・ツーニエンによる展覧会を行います。ホー・ツーニエンは、様々
な歴史的、哲学的テキストや素材から映像作品、インスタレーション、演劇
的パフォーマンスを発表してきました。今回の展覧会では、哲学者の

特集
ホー・ツーニエン
「ヴォイス・オブ・ヴォイドー虚無の声」展



演劇を 見ているかのよう な 展覧会が 作れたら

今回の展覧会のアーティストであるホー・ツーニエンについて教えてください。

シンガポールを代表するアーティストで、現代美術や舞台芸術の分野で国際的に高く評価されています。最初は映画監督としてキャリアをスタートし、長編映画がカンヌ映画祭で上映されたこともあります。その後は、映像インスタレーションや演劇的パフォーマンスなどひとつの分野にとどまらない形式の作品を発表し、国際的な美術の祭典であるヴェネツィア・ビエンナーレをはじめとする美術展や舞台芸術のフェスティバルなどに数多く招待されています。最近では展覧会の企画も行うなど、絶えず表現の幅を広げている、今注目のアーティストです。

なぜ彼を展覧会のアーティストとして選んだのでしょうか？

以前からツーニエンの展覧会をYCAMでやりたいとずっと考えてきました。彼を選んだ理由は主に2つあり、1つは新しいテクノロジーを積極的に取り入れて新しい表現にチャレンジしていること。YCAMでも様々なテクノロジーを扱っていますが、彼とならテクノロジーが持つ歴史やその背景にある政治的な文脈も見せてくれるような作品を作ることができるんじゃないかと考えたからです。

そして、もう1つの理由は、彼が美術作品だけではなく、演劇的な作品や映画も作ってきたアーティストだからです。YCAMも美術、舞台芸術、映画の事業を行っていますが、ツーニエンとYCAMがコラボレーションすることによって、既存の展覧会や演劇という垣根を越えた新しい作品が作れるのではないかという思いがありました。今回の展覧会の会場であるスタジオAは普段は劇場として使われている空間。この場所で演劇を見ているかのような展覧会が作れたらいいなと思いました。

吉崎和彦 YOSHIZAKI Kazuhiko

1980年生まれ。東京都出身。2009年より、東京都現代美術館に学芸員として勤務。映像、写真、身体表現、音楽など様々なジャンルの展覧会を担当する。17年10月よりYCAMのスタッフに着任し、展覧会の企画を担当。

photo: 谷 康弘

歴史の 複雑さを見せる

今回の展覧会では「京都学派」がテーマになっていると聞きました。

「京都学派」は西田幾多郎を中心に形成され、1930年代から40年代にかけて日本の思想界に大きな影響力を持った哲学者のグループです。本展で主に取り上げるのは、真珠湾攻撃直前の1941年11月末に開催された、「京都学派四天王」と呼ばれた西谷啓治(1900-1990)、高坂正顕(1900-1969)、高山岩男(1905-1993)、鈴木成高(1907-1988)が参加した座談会「世界史的立場と日本」です。展覧会では、この座談会の内容を中心に、彼らと彼らを取り巻く人々が30年代から40年代にかけて産み出した様々なテキストにアプローチしています。

「京都学派」をテーマにしようというのは、ツーニエンと一緒に考えて出てきたアイデアなのでしょうか？

「京都学派」を扱うことは、ツーニエンからの提案でした。ツーニエンはこれまでアジアの歴史や伝承を扱った作品を作ってきましたが、ひとつの歴史も、語る人や語

られ方によって全然違うものに見えてきてしまう。それを、様々なイメージや文章などを集めて解きほぐしていき、歴史の複雑さを見せるということをこれまで行ってきた作家です。今回、日本で作品を作ったときに、彼は「京都学派」が東洋的な観念を取り入れて、西洋の価値観や思想を乗り越えようとしたことと、その一方で、戦争とも深い関わりを持っていたことに注目しました。また、当時の戦争は、日本とシンガポールの関係を考えてときに無視できない歴史的出来事です。「京都学派」といっても、様々な思想を持った人たちがいて、それぞれ意見も違うし対立もしている。「京都学派」の持っている複雑さを見せることで、歴史の複雑さを言葉ではない形で伝えようとしています。

コロナ禍の影響で作品を制作する期間に、ツーニエン自身は山口に来ることができなかったと思いますが…。
そうなんです。2019年に1度YCAMに来て会場を見てもらって以来、作品を作る段階では来ることができていません。ミーティングもすべてビデオ会議で行い、作品を制作しています。やはり遠隔でコミュニケーションをとりながら作品

を作っていくことはとても難しいです。今回はVRによって鑑賞者がアニメーションの登場人物へと同一化し、まるでその世界にいるかのような体験してもらおう作品ですから、まず、YCAMからVRのヘッドマウントディスプレイとコンピューターをシンガポールに送り、同じ環境下で制作ができるようにしました。しかし、キャラクターデザイン、3Dモデル制作、VRの環境作りまで日本にいるエンジニアが中心になって制作しているため、言語の問題に加えて遠隔なこともあり、言葉では表現しづらい身体的な感覚は制作チームのメンバーに伝わりにくく、やはりツーニエンがその場に来てくれたらと思うことが何度もありました。

逆にこの状況が良い方に作用した点はありますか？

いろんな場所から作品の発表を依頼される忙しいアーティストですが、今はどこにも行けずずっと家にいますので、連絡が取りやすいですね(笑)。オンラインでも常につながっていただけるというのは、すごく大きなメリットです。でも、そのオンラインでやりとりできる情報量に限りがあり、難しさもありましたが…。



わかる！
キーワード

【京都学派】 西田幾多郎と田辺元、そして主に京都大学で彼らに師事した哲学者のグループ。その中でも、西谷啓治、高山岩男、高坂正顕、鈴木成高は「京都学派四天王」と称された。

VRによって 身体的に 歴史を 体験する



具体的に、展覧会ではどのように作品を体験できるのでしょうか？

作品は、映画を見るようにスクリーンに映し出される映像を見る体験と、VRにより映像世界の中に没入する体験の2つの異なる映像体験から構成されます。作品の核となるVRには4つのシーンがあり、そのシーンを行き来して、登場人物の語りに耳を傾けることで物語が展開していきます。シーン間を移動するには、実際に立ったり、横になったり、座禅を組むようにじっと動かずにいる。あるいは座談会に速記者となって立ち会い、速記するかのように手を動かすことによって座談会の声が聞こえてくるというインタラクション

を準備しています。また、スクリーンに投影される映像は3つあり、VRの中のシーンについて別の視点から語る内容になります。その映像を見てVRを体験すると、物語の背景を知った上で、より身体的に体験できると思います。

作品では、アニメーションという手法を用いていますので、物語の中に入りやすいのではないかと考えています。

表現方法としてVRやアニメーションを選ばれたのはなぜでしょうか？

アニメーションから説明すると、ツーニエンは日本のアニメに強い関心を持っていて、最近の他の作品でもアニメーションを扱っています。日本のアニメでは、歴史上の出来事や戦争が、架空の時代や世界という設定で語られることがよくあります。さらに、彼が作品で扱ってきた歴史の語りの構造とアニメーションの制作構造に似ているところがあるんじゃないかとツーニエンは指摘しています。アニメーションはひとつの世界、フィクションの世界を作る上で、複数のレイヤー（セル）で前景・背景を作り、キャラクターがあたかも本当に動いているかのように作っている。歴史についても、何を前景に持ってくるか、何を背景にして語るかによって、全

く異なるものに見えてくる。このようなアニメーションの構造と歴史の語りの構造の類似性からも、今回アニメーションを手法として用いる動機のひとつにもなっています。

VRについていえば、ツーニエンが作品でVRを使うのは今回で2回目です。ただ、1回目は観客とのインタラクションはほとんどなく、360度の世界が見られるという映像体験でした。今回彼にとって初めてのチャレンジとなるのは、観客の動きがVRのシーンの変化につながっているため、より観客の能動的な参加が求められるインタラクションがあることです。歴史を情報や知識としてだけではなく身体的に体験する、実際に自身もその歴史が再現された場・空間に入って体験するというのが今回大きなポイントになっています。VRによって新しい歴史の体験の仕方を試みています。

歴史は、文章で知ることもできますが、その言葉がどういう状況下で書かれていたのかということ、身体的に体験することによって、より過去の出来事に対して想像力を働かせることができるんじゃないか、と私は考えています。身体を通して歴史というものと向き合ってもらえたらいいなと思っています。

photo: Matthew Teo 提供: Art Review Asia



ホー・ツーニエン
Ho Tzu Nyen

シンガポール生まれのアーティスト。様々な歴史的、哲学的テキストや素材との出会いから出発して、映画や映像作品、インスタレーション、演劇のパフォーマンスを作る。近年の作品では、トラ人間（《一頭あるいは数頭のトラ》、2017）や三重スパイと裏切り者（《名のない人》、2015）（《神秘的ライ・テク》、2018）といった変容する登場人物たちを扱っている。2011年ヴェネツィア・ビエンナーレのシンガポール館での個展をはじめとして、多くの国際的な美術展や舞台芸術祭、映画祭に招待されている。

ホー・ツーニエンからのメッセージ

「ヴォイスオブヴォイド―虚無の声」展で私たちは、アジアにおける日本の軍事行動が激化した一九三〇〜四〇年代に、日本の知識人たちが産み出した様々な理論的テキストを舞台に上げることを試みます。本作で扱うテキストや個人は、東洋の観念を取り入れることで西洋哲学を乗り越えようとした西田幾多郎（一八七〇〜一九四五）を中心に形成された、京都学派と呼ばれるグループを通してつながっています。西田の思想において重要な概念のひとつである「絶対無」は、禅の実践を通して直観されたと言われており、この概念の痕跡は、彼の同時代の学者や教え子たちの仕事や思想の中に、そして当時の「諸戦争の中に道徳的意義を見出そう、あるいは作り出そう」という彼らの努力の中に散見されます。

アニメの投影とVRによる同一化を相互に関連づけながら、師と弟子、講演者と聴衆、加害者と被害者の錯綜した関係を再現し、既存の見方にとらわれない新たな視点から、複雑で激動の歴史の瞬間を再考したいと思っています。

対話しながら 作品について 一緒に考えていく

関連企画も多くあると聞きます。そのなかでおすすめのイベントがあれば教えてください。

今回、YCAM教育普及担当と「サンカクトーク」という企画を準備しています。「サンカク」とは、自分自身と他者、作品の「三者」の関係のことです。作品を見て自分が考えたことを他者と共有し、他の参加者の考えも聞いたうえで、また違った視点から改めて作品を見るという、対話を通して作品に対する発見や気づきを深めていく機会が作れたらいいなと思っています。

さらに、こうした対話型のものだけではなく、キュレーターやエデュケーターが作品の背景などを解説するトークも用意しています。ほかにも映画の上映も企画しています。今回取り上げた時代の空気について知ることのできるような映画や、

ツーニエンの過去作品を見ることによって、異なる視点から作品のことを知ってもらいたいと考えています。会期中様々な角度から展覧会を楽しんでもらえたらと思います。

トークでは「難しい」「分からない」ということも言ってもいいのでしょうか？

そうですね。もしかししたら、作品を鑑賞して戸惑いを持たれる方もいらっしゃるかもしれませんが、そのわからなさも楽しんでもらいたいです。取り上げているテーマは難しい問題ですし、その難しい問題をあえて言葉に頼らない形で見せようというのが今回の作品なので、作品から回答が得られる、結論を得られるわけではありません。そのため、「サンカクトーク」のような対話の場で多くの方々と共に考えていけたらと思っています。

哲学者とその政治的文脈を扱うという意味では難しいテーマかもしれませんが、手法としてはアニメーションを使っていますので、その対比も見どころです。ぜひまずはアニメーションを楽しんでいただけたらと思います。

ホー・ツーニエン 「ヴォイス・オブ・ヴォイド―虚無の声」展 YCAMとのコラボレーション

2021年4月3日(土)～7月4日(日)
10:00～19:00
会場: 山口情報芸術センター スタジオA
[料金] 無料 ※VR体験は13歳以上が対象

PRESENT

ホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイド―虚無の声」展の展覧会カタログやワイカムシネマ招待券をプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、4月30日(金)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

- A ホー・ツーニエン
「ヴォイス・オブ・ヴォイド―虚無の声」展
展覧会カタログ(3名)
- B ワイカムシネマ招待券(3名)

【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7
(公財)山口市文化振興財団
「any vol.115 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

観覧した あなたに の！

- ◎宗教論の話で難しい点があったが、哲学者の考え方が理解できた。(70代以上男性 ホー・ツーニエン新作展プレトーク「山口時代の西田幾多郎の原文を読む・考える」より)
- ◎国が違えど、同じことが社会問題なんだなと思った。(50代女性 ワイカムシネマ「82年生まれ、キム・ジョン」より)
- ◎ネットといえど常にその向こうには人間が存在するという想像力を持ち続けたいと感じました。(鎮国プロジェクトワークショップ「私はネットでできている?」より)
- ◎中原中也記念館ならではの発想、「アンケート」や「職員好きな詩」など手づくり感がとてもよかったです。(20代男性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩―思いつくの一編」より)

《ヴォイス・オブ・ヴォイド(ワーク・イン・プログレス)》、2021年。TPAM(国際舞台芸術ミーティング in 横浜)における体験の様子。 photo: 前澤秀登



any通信

芽吹く。
新しいことへの
気持ちも。



中也さん、聴こえていますか？



浜田真理子

詩の朗読を好んだ中原中也にちなんで行われる「空の下の朗読会」が、中也の誕生日に開催されます。第1部では、集まった参加者が自由に詩の朗読を披露します。第2部のコンサートにはシンガーソングライターの浜田真理子さんをゲストに、またサクスのMarinoさんをサポートにお迎えします。浜田さんの声と音楽で広がる言葉の世界をお楽しみに。夕方からは別会場にて中也賞の贈呈式と記念講演を行います。

中原中也生誕祭「空の下の朗読会」

2021年4月29日(木・祝)
12:30~14:30(朗読希望者は4/1より事前受付)
会場:中原中也記念館 前庭
(雨天の場合、湯田温泉ユウベルホテル松政)
[ゲスト]浜田真理子、Marino
[料金]無料(当日は、記念館の入館料も無料)

第26回中原中也賞贈呈式&記念講演

2021年4月29日(木・祝)
15:30~16:10 贈呈式
16:50~17:50 記念講演
「中也の風、朔太郎の白」
講師:萩原朔美(前橋文学館館長)
会場:湯田温泉ユウベルホテル松政
[料金]無料

世界に一つだけのサーカス

“Witty Look”は、一輪車元世界チャンピオンのDAIKI(ダイキ)と日本屈指の女性アクロバティッククラウンのCHEEKY(チキキ)!!による

一輪車サーカスユニット。自分たちの立つ場所がい

つでもどこでも劇場になるという信念のもと、世界中を旅しながら公演を重ねてきました。そんな実力派の2人が山口市にやってきます。ハラハラドキドキ、コミカルなショーは、世代も性別も国境も越えてみんなを笑顔にしてくれますよ!



「Witty LookのLife's a Circus!!!!」

2021年5月30日(日) 18:00開演
会場:維新大晃アリーナ
レクチャールーム(維新百年記念公園)
[チケット情報]一般発売 4月24日(土)~
[料金]全席自由 ※4歳以上有料
前売 一般 3,500円
any会員 3,000円(1会員4枚まで)
25歳以下 2,500円

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

水沢なお(詩人)

2020年に第25回中原中也賞を受賞された水沢なおさん。昨年の中也賞贈呈式が初めての山口訪問だったそうです。緊張と喜びが入り混じる中で流れる山口での時間。その景色は、水沢さんの目にどんなふう映ったのでしょうか。

山口の空は、特別青くきれいでした。



中原中也賞の贈呈式をきっかけに、はじめて山口を訪れました。昨年の11月のことです。新山口駅で降りて、山頭火や中也の言葉であふれている駅の構内を散歩しました。心は川底で寝転がっているときのように、真っ白く、どこまでも澄んでいきました。贈呈式当

日のことは、あまり記憶がありません。これまでの人生のなかで、最も緊張した一日でした。たくさんの方からの祝福に、これからも詩作を続けていきたいと強く思いました。無事に式が終わっても、しばらくの間、身体はびりびりと張りつめていました。しかし、温泉に肩まで浸かると、なにもかもがやさしく溶け出して行って、身体はあたたかさで満たされていきました。贈呈式の次の日からは、ずっと行きたいと思っていた中原中也記念館、瑠璃光寺の五重塔、常栄寺の雪舟庭などを見て回りました。山口の空は、特別青くきれいで、またその下を歩きたいとふと思います。

第25回中原中也賞贈呈式

2020年11月7日



例年は、中原中也の生誕日である4月29日に行っている中也賞の贈呈式だが、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため11月に延期をしての開催となった。贈呈式に登場した第25回中原中也賞の受賞者である水沢なおは、会場に集まった参列者を前に、「詩とはなにか、美しいとは何かを、これからは妥協せず表現し続けていきたい」と、力強い言葉で抱負を語った。渡辺市長からは、山口萩焼の陶板の賞状や中也のブロンズ像などが手渡された。

水沢なお MIZUSAWA Nao

1995年、静岡県生まれ。武蔵野美術大学造形学部卒業。大学1年生の頃より詩作をはじめ。2016年に第54回現代詩手帖賞受賞。全国より集まった224点の応募・推薦詩集の中から、第一詩集「美しいからだよ」(思潮社)が第25回中原中也賞の受賞作となる。会話体で書かれ、小説に近い物語性を持つ文体を評価されての受賞となった。



お先に
試写しを
しました

「声優夫婦の甘くない生活」

(2019年/イスラエル/88分/カラー)
[監督]エフゲニー・ルーマン
[出演]ウラジミール・フリードマン、マリア・ベルキン、アレキサンダー・センドロビッチ、エバリン・ハゴエル

お家時間が増えた今、家族と同居されている方は、いまさら新たな発見があったりしますよね。しかも、ほぼ嫌いな発見。今回ご紹介する作品は、犬も食わない夫婦の話。1990年、旧ソ連圏からイスラエルへ移民したヴィクトルとラヤは、かつてソ連に届くハリウッドやヨーロッパ映画のスターの吹き替えで活躍した声優夫婦。夢の第2の人生をスタートするも、仕事にありつけない2人が始めたのはなんと闇仕事で…!? 監督自身の経験をもとに、7年の歳月をかけて丁寧に作り上げたこの作品は、場所や時代を超えて深い共感を呼び、世界各国で喝采を浴びました。また本作を彩るのは、声優

夫婦の歴史を形作ってきた名画の数々。往年の名作へのオマージュが詰まったクラシカルな映像に加え、ユーモア溢れるストーリー展開からも目が離せません。お国も時代も変われど、なぜか他人事とは思えないこの夫婦関係。笑えるか、笑えないか、あなたの本当の声在那里に隠れているかもしれません。

前原美織(山口情報芸術センター シネマ担当)

2021年4月1日(木)~16日(金)

※期間中、休映日あり。上映開始時間等はお問い合わせください。

会場:山口情報芸術センター スタジオC
[料金]一般 1,300円
any会員・25歳以下・特別割引 800円

any編集長の おすすめ 1本

ワイクムシネマで
上映される作品の中から
any編集長の
お気に入りをご紹介します。



©2018「フジコ・ヘミングの時間」フィルムパートナーズ

「フジコ・ヘミングの時間」

(2018年/115分/日本/カラー)
[監督]小松莊一良

上映日程 2021年4月23日(金)~5月4日(火・祝)

60代後半でブレイクした運命のピアニスト、フジコ・ヘミング初のドキュメンタリー映画。80代になった今でも世界中で精力的に演奏活動を続ける彼女の魅力と数奇な人生を、世界各地にある美しい自宅での愛する猫たちとの暮らしぶりとともに解き明かしていく。監督は多くのミュージックビデオを手がける「ハートプレイヤー 弾丸より愛をこめて」の小松莊一良が手掛ける。

の読書 窓

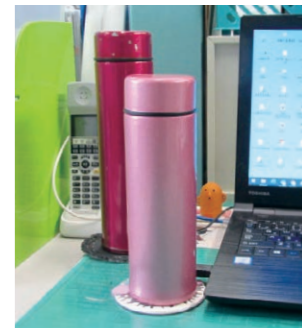
みなさんは「ロボット工学三原則」をご存知でしょうか。この本は私が中学生のころ読んだ本で内容はほとんど覚えていませんが、冒頭にロボットが従うべき三原則が示されており、これを起点とした人間とロボット社会の矛盾などがミステリアスに書かれています。AIが台頭してきている現在、何故かこの三原則が気になります。

藤井栄治(山口市立中央図書館 職員)



『われはロボット』
アイザック・アシモフ 著(小尾美佐 訳)
1983年発行/早川書房

My TOOL



「水筒2本」

もう何年になるかわかりませんが、職場でずっと私のそばにいた水筒2本。小さい方はコーヒー、大きい方は麦茶などノンカフェインの飲み物。寝つきに影響するので、午前中にコーヒー、午後はノンカフェインを飲むことにしています。夏は氷を入れて冷え冷え、冬は入れたての熱さが夜まで続きます。きっかけは残業後に自分のカップを洗って帰るのはつらいなあと思ったこと。ちょっとしたことですが、仕事が終われば一瞬でも早く帰りたいものです。これなら帰りはバッグに入れるだけ! オススメですが、持ち物によっては時々サブバッグが岩のように重くなってまうのが難点です。時々何をそんなに持っているのかと聞かれるので書いてみました。

渡辺千絵(中原中也記念館 副館長)

ふりかえり any



any vol.100
発行日:2017年4月1日

特集:音楽はいつでもすぐ隣にある。

100号の発刊を記念して表紙をがらりとリニューアル! 背景色をつけることで各号のイメージカラーが誕生。ハンブルク交響楽団と若手ヴァイオリニスト三浦文彰との共演を描いたイラストは、まるで「おもちゃのマーチ」の世界観のようにポップでキュートな仕上がり。特集インタビューの中で同世代との共演の夢を語っておられた三浦さんは、世界的ピアニストの辻井伸行さんと共演するなど、その後も活躍の幅を着実に広げておられます。本号からページ割も一部模様替えし、any通信のコラム枠に「ふりかえりany」「MY TOOL」コーナーが新たに仲間入りするなど、さらに充実の内容になりました。

読み聴観 ビュな あなた! の!

- ◎自分とインターネットの関係性を考え直すことができました。(「顔面プロジェクトワークショップ」私はネットでできる?)より)
- ◎他の方々のスケッチを見るのは楽しくてまさに音景クルーズできたと思います。(10代男性 未来の山口の授業「音景クルーズ」より)
- ◎懐かしい気持ち込みあげてきました。(20代女性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩一思い出の一篇」より)
- ◎視覚ではなく聴覚だけのところが、すごい恐かったけど、色々考えさせられた。(「ちゃんぷるー わたしが画家! 修学旅行」より)

読み聴観 ビュな あなた! の!

- ◎「分からないものに触れる」という意義について、考えさせられました。(50代女性 ホー・ツーエン新作展プレートク「山口時代の西田幾多郎の原文を読む-考える」より)
- ◎人物像は知っていたけどゆかりの人たちの証言が興味深かったです。(60代男性 ワイクムシネマ「マイルス・デイヴィス クールの誕生」より)
- ◎哲学といえど難しいイメージでしたが、分かりやすかったです。(30代男性 ホー・ツーエン新作展プレートク「山口時代の西田幾多郎の原文を読む-考える」より)
- ◎「春日狂想」は好きな作品の一つなのですが、成立背景を知るとまた違ったように見えてきました。(20代女性 企画展II「中也の住んだ町——鎌倉」より)

山口情報芸術センター (YCAM)

https://www.ycam.jp/

「YCAMスポーツ共創実験スタジアム2021」+ 「第6回 未来の山口の運動会」

2021年5月2日(日)～5日(水・祝)
会場：スタジオB、山口市中央公園 ほか

スポーツは作れる！ みんなでやる！

回を重ねるごとに進化し続ける「未来の山口の運動会」。昨年はオンラインでの実施という初の試みにチャレンジし、オンラインならではの新種目も生まれました。今回は総勢30名のメンバーがYCAMに集い、開発(デベロップ)と実践(プレイ)の繰り返しから生まれたアイデアとテクノロジーが詰め込まれた新しいスポーツを、運動会形式でメンバー自ら競技していきます。その様子は、5月4日に行われる「第6回 未来の山口の運動会」としてオンライン配信で視聴することができ、さらには新たに開発されたYCAMオリジナルのデバ



「第5回未来の山口の運動会」開催時の様子

イスを使った視聴者参加型のオンライン種目も登場する予定です。

わたしはココに注目する!
生活様式が代わり、人と人との触れ合いが減ったなかだからこそ、スポーツが好きな人も嫌いな人もオンラインから観戦、参戦、そして「自分たちのためのスポーツ」を考えてもらえるキッカケとなる「新しい運動会」を目指します。
今野恵菜(山口情報芸術センター エducator)

料金 ■ 無料(要申込) [定員]30名 ※申込方法等の詳細はお問合せください。
※「第6回未来の山口の運動会」(5/4)は無料にてオンライン視聴できます。詳しくはwebサイトをご覧ください。

ホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイド—虚無の声」展

関連上映プログラム「戦場のメリークリスマス」ほか

2021年5月7日(金)～23日(日)

※期間中、休映日あり。
上映開始時間等の詳細はお問い合わせください。

会場：スタジオC

映画からホー・ツーニエンの 展示会の世界に触れる

本誌特集ページで紹介しているホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイド—虚無の声」展の関連企画として、大島渚監督の最大のヒット作である「戦場のメリークリスマス」をデジタル修復版にて上映します。社会の歪みに鋭く切り込んだ数々の作品で国際的に高く評価される大島渚監督。本作は、第二次世界大戦さなかのジャワ島・日本軍の浮虜収容所を舞台に、日本軍人と西洋人捕虜との関係性を異文化の対立と融合の象徴として描いた、戦闘シーンが一切登場しない異色の戦争映画です。関連上映ではそのほかにも、

料金 ■ 全席自由(各15分前開場/入替制) ※作品によっては別料金あり。
一般 1,500円 any会員・25歳以下・65歳以上 1,300円 障がい者および介助者 1,000円



©大島渚プロダクション

市川崑監督「細雪」(1983)、アニメ映画「桃太郎 海の神兵」(1945)、「東京裁判 4Kデジタルリマスター版」といった戦時中の空気感が感じられる作品をセレクトしてお届けします。

わたしはココに注目する!
「戦場のメリークリスマス」のテーマ曲は、誰もが一度は耳にしたことがある名曲です。大島監督への直談判の末、初めて映画音楽を手掛けることになった坂本龍一氏の繊細なメロディーもあわせてご堪能ください。

中原中也記念館

https://www.chuyakan.jp/

企画展I

「中也、この一篇——『正午』」

2021年4月14日(水)～7月25日(日)

詩「正午」を通じて 昭和と中也を知る

中原中也の代表作をじっくりと味わう企画展シリーズ。3回目となる今回は「正午」を紹介します。「正午」は、中也が亡くなったのと同じ月(1937年10月)に発表された、中也最晩年の詩です。本作は副題に「丸ビル風景」とある通り、詩の制作当時、日本最大のオフィスビルだった「丸ノ内ビルディング」、通称「丸ビル」が舞台となっています。中也は、ここで働く大勢の人々が、昼休みを知らせるサイレンを合図にして一斉に外出する様子を、言葉のリフレイン(繰り返し)を巧みに用いて描き出しています。

入館料 ■ 一般 330円(275円) 大学生 220円(165円)
※あわせてテーマ展示もご覧いただけます。 ※18歳以下、70歳以上無料 ※()内は20人以上の団体料金



「丸ビル」(「大東京名所絵はがき集」より)

本展は「正午」について、詩の言葉についての解説、他の文学作品との関連、中也にとっての意義などの観点から、その奥深い魅力に迫ります。

わたしはココに注目する!
現在では工場などでなじみ深い時報のサイレンですが、中也の詩が発表された当時は東京・丸の内内のオフィス街に鳴り響いていました。展示では「正午」の詩の言葉を深掘りし、当時の時代状況や中也について探ります。

検定 中也



山口市全景(戦前の絵はがきより)

Q 中也は詩の中で様々な形で故郷・山口への思いをうたっています。しかし、具体的な山口の地名や場所はほとんど出てきません。それでも、1937年4月に「文学界」に発表した詩のタイトルには、山口県内のとある景勝地の名前が入っています。そこは中也お気に入りの場所で、帰省したときに一人で訪れたり、山口に遊びに来た友人を案内したりしたこともあったそうです。さて、その場所とはいったいどこでしょうか?

- 1 秋芳洞
- 2 長門峡
- 3 瑠璃光寺

答えは14ページ

第26回 中原中也賞

【受賞者コメント】



小島日和
KOJIMA HiYORI

この『水際』は、おとしの春に詩を書きはじめてから、およそ1年間に書いたものをまとめた詩集です。ですから、これから先、ずっと長い時間のなかで、なにを、どう書いていくのか、わたしにもわかりません。ただ、少しでも長く書きつづけられたら、と思います。最後に、詩を書きはじめるきっかけをくださった方、いつも、詩を書いているわたしのことを見ていてくださるみなさまに心から感謝申し上げます。

1997年、東京都生まれ、福岡県育ち。早稲田大学文化構想学部卒業。現在は東京都内在住、会社員。大学生の頃から詩を作りはじめ、受賞作となる『水際』(七月堂)が全国より集まった268点の応募・推薦詩集の中から第26回中原中也賞を受賞した。「のびやかで滑らかな言葉を駆使して、日常の現実の時間を手探りで描いている。個性が十分発揮されている」と評価され受賞となった。

ごま油を買いに行くために、お隣から自転車を借りた話をする、染みのついたテールブルクロスを剥がそうとする、まだかえなくていいと言う、代わりに、弟のセーターを脱がしにかかる、ささくれを撫でつけるふりをしながら、籐の椅子に座らせる、インターフォンから分裂する声を、編まれることのなくなった、毛髪のなかに押しこんでしまおう、私は弟と同じ格好で絡まっている外から焦げついた匂いがする道に張り出して全身で振る舞っている母は体毛の一本ずつまで着膨れていくむかし弟が生まれたときにやってきた車をもう誰も待ってはいない私たちが家にあるものを偏りなく分けあっている

(『水際』所収「あぶら」より抜粋)



受賞詩集
『水際』
(七月堂)

「み聴観
ビんいた
ユないた
の！」

◎中也の生活が感じられる内容で興味深かった。(50代女性 企画展II「中也の住んだ町——鎌倉」より)
◎個人情報取り扱いについて、自分なりにより強固なルール作りの必要性を強く感じました。(鎮国プロジェクトワークショップ「私はネットでできる?」より)
◎学生時代に感じたことよりとらえ方が今は違っていておもしろかった。(20代女性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩—思いの一篇」より)
◎自分の知らない内面を知ることができた。(40代女性 未来の山口の授業「音景クルーズ」より)

「み聴観
ビんいた
ユないた
の！」

◎スタッフの方が他の人との意見をつなげたり、比較してくれたので、自分との感じ方の違いをより楽しめたように思う。(20代女性 未来の山口の授業「音景クルーズ」より)
◎自分自身の素直な感情を、何のてらいもなく詩に投影できる潔白さが好ましいです。(40代男性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩—思いの一篇」より)
◎頭の普段使わない部分を使ったみたいで楽しかったです。(40代女性 ホー・ツーニエン新作展プレトーク「山口時代の西田幾多郎の原文を読む」より)
◎色々なジャンルの映画上映、良いと思います。これからどんな映画に出会えるのか、ワクワクします!(60代女性 ワイカムシネマより)

山口市民会館

http://www.yamaguchi-civichall.com/

DRUM TAO「祭響=SAIKYO=」

2021年4月10日(土) ①13:30開演 ②17:30開演 (各回60分前開場)
会場:大ホール

驚異の 和太鼓エンターテインメント!

圧倒的な音表現で観客を魅了する和太鼓のパフォーマンス集団“DRUM TAO”。彼らの驚異のパフォーマンスは日本が誇るエンターテインメントであり、NYオフブロードウェイでは全公演がソールド・アウト、またNewsweek誌が「日本を売り込む『顔』になる!」と絶賛するなど、海外でも高い評価を集めています。現在3班で年間700回超の公演を行い、またユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー、iTunes 5カ国でワールドチャートTOP3入り、パリ「ジャポニスム2018」、モスクワ「ロシアにおける日本年」開会式にて演奏。2019年からは東京常設劇場「万華響—MANGEKYO—」上演を開始するなど、近年ますます活躍の幅を広げています。



今回山口で披露する新作ステージ「祭響」は、27年の歳月を経たTAOがもう一度前進するために、原点回帰を目指す特別な作品となっています。TAOのメンバーによる熱い思いを、ぜひ会場で受け取ってください。

わたしはココに注目する!
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年6月開催から延期となった本ライブ。楽しみに待たれていた方も多くでしょう。昨年演奏できなかったぶん、パワーを溜め込んで臨むDRUM TAOの圧倒的な演奏とパフォーマンスにご期待ください!

チケット情報	発売中
料金	全席指定 前売 SS席 7,700円 S席 6,700円 ※6歳未満入場不可

イ ベ ン ト レ ポ ー ト

星屑スキャット TOUR 2020 「色、色々」

去る10月3日、ミッツ・マングローブ、ギャランティーク和恵、メイリー・ムーによる音楽ユニット「星屑スキャット」のコンサートを開催。すっかり秋の空気に包まれたこの日、山口市民会館では実に数カ月ぶりのコンサートとなりました。ロビーや場内には開演前から音楽が流れ、非日常気分を盛り上げます。あでやかなドレスに身を包んだ3人が登場して、いよいよ開幕! 思わず口ずさんでしまうような懐かしの歌謡曲からオリジナル曲までを抜群の歌唱力とハーモニーで披露し、会場からは熱い拍手が送られました。トークではミッツさんと山口県との意外な接点が明かされるなどご当地ネタにも花が咲き、あちらこちらで笑顔が。アンコールでは星屑スキャットのメンバーからお客様への感謝の言葉が贈られ、終幕となりました。座席数は通常の半分、間隔を空けての着席、マスクの着用や検温・消毒の徹底といった“新しい生活様式”のもとでの開催となった今回の公演。終演後に寄せられた声では「元気をもらった」「華やかなステージで心が晴れた」との言葉が続々と届きました。生のステージの力と、みんなでエンターテインメントを楽しめることの喜びを改めて噛みしめるひと時となったようです。



■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

先行チケット
発売情報
早チケ
4月25日
発売!

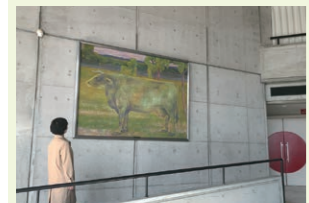
山口市民会館開館50周年記念
やまぐちJAZZフェスタ
2021
2021年7月18日(日)
15:00開演(14:00開場)
会場:大ホール



過去の開催の様子 提供:スターダスト☆ビッグバンド
山口市内はもちろん市外からも集まったジャズグループ10~15組が出演し、演奏を披露するジャズフェスティバルが、数年ぶりのお休み期間を経て、久しぶりに開催。しかも会場は、開館50周年を記念して山口市民会館の大ホールや中庭で行われます。この日は演奏だけではなく軽食や飲み物の販売もあり!! 観客と演奏者が一体になって楽しめます。この夏、山口市民会館でジャズ三昧の日を過ごしてみませんか?

[チケット情報] 4月25日(日)~
[料金] 全席自由 ※小学生以上有料
前売 3,000円(高校生以下 1,500円)

バックステージへ ようこそ



山口市民会館大ホールのロビーには山口ゆかりの方々から寄贈された数点の絵画が飾られています。なかでも、今年の干支である牛に目をひかれる縁起の良い絵は、宇部市出身の日本画家である西野新川によって描かれた『湖畔』という作品です。キャンバスいっぱいに大胆に描かれた牛は、圧迫感はなく、むしろ淡い緑色の牧草地に溶け込むかのように、柔らかな存在感を与えてくれます。遠くを見つめるやさし気な黒目がとても印象的です。この絵は元総理大臣の岸信介氏から寄贈され、今年、開館50周年を迎える市民会館の歴史を当初から見守ってきました。劇場でありながら美術館さながらのゆったりとした空間を演出してくれています。

シンプルな舞台なのに、 世界がはいってきた。

(10代男性 カンパニーデラシネラ「ドン・キホーテ」より)

教科書になかったら
中也のファンには
ならなかったと思う。

(50代女性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩—思い出の一篇—」より)

こんなにもキラキラして華やかなステージを
観ることができて心が晴れました。

(30代女性 星屑スキャット TOUR 2020「色、色々」より)

観客の想像力をいかに
信じているのかということに
心打たれて涙ぐんでしまいました。

(30代女性 カンパニーデラシネラ「ドン・キホーテ」より)

私の母校では中也を
扱っていなかったのですが、
みなさんの思いもみながら
鑑賞できました。

(20代女性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩—思い出の一篇—」より)

映像にはない
息遣いまでが
伝わりました。

(60代男性 星屑スキャット TOUR 2020「色々」より)

子どもにとってフェスのような、
夏休み一番楽しみにしているイベント。

(30代女性 夏夜の星屑上映会「ベットの2」より)

セリフはなかったけど、
たくさんそうぞうできた。

(10代未満 人形劇回クラルテ「トクントクン~いのちの旅」より)

いままで乗り物に着目して
作品を味わったことが
なかったのでおもしろかった。

(20代女性 企画展II「汽車が速いのはよろしい—中也の詩と乗り物—」より)

トクントクンの音で
「私」とみんながつながっている
という気持ちになりました。

(30代 人形劇回クラルテ「トクントクン~いのちの旅」より)

こんなこともできるのか!
こんな見せ方があるのか!
とワクワクの連続。

(「5x5x5本足の椅子」より)

とてもこわかったけれど、
最後やさしさが心に広がりました。

(「ちゃんぶるー 私が幽霊!? 修学旅行」より)

観た!
聴いた!
みんなの
レビュー!

Special

山口市文化振興財団が主催する催し物には、いつもみなさんからたくさんの感想が寄せられています。本誌ではその中からほんの一部を「観た!聴いた!みんなのレビュー」としてページの下に掲載して紹介していますが、縮小版でお送りした113号・114号では残念ながらお休みに…。今回は、掲載できなかった参加者の声を、一挙ご紹介いたします。さて、どんな声が届いているのでしょうか?

学生時代の授業を
思い出しました。

(60代男性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩—思い出の一篇—」より)

戦争のことについて
深く考えたことがなかったので、
とてもいいけいけんになったと思う。

(10代 「ちゃんぶるー 私が幽霊!? 修学旅行」より)

本を読んでいるように
頭の中で自由に景色が変わっていく。

(40代女性 カンパニーデラシネラ「ドン・キホーテ」より)

中原中也の詩に初めて出会ったのが
高校の教科書に載っていた
「月夜の浜辺」でした。

(50代女性 テーマ展示「教科書で読んだ中也の詩—思い出の一篇—」より)

笑いは最強で最も
リーズナブルな薬!

(70代以上 「松元ヒロ ソロライブ2020」より)

音鉄な中也、いいと思います。

(20代女性 企画展II「汽車が速いのはよろしい—中也の詩と乗り物—」より)

涙が自然と落ちました。
「春日狂想」はいつみても
悲しくなりますね。

(10代女性 企画展II「中也の住んだ町—鎌倉」より)

「トクントクン~いのちの旅」より

「トクントクン~いのちの旅」より

セリフが少なかつたけど、
目がはなせなかつた。

(10代 人形劇回クラルテ「トクントクン~いのちの旅」より)

笑ったり、泣かせたり、
話術の天才、奇才です。

(50代 「松元ヒロ ソロライブ2020」より)

中也が東京に住んでいた時代の
生活感が意外にも現代的であったことに驚いた。

(90代女性 企画展II「汽車が速いのはよろしい—中也の詩と乗り物—」より)

YCAMの音響で観られて、
正解でした。

(50代男性 YCAM振替映画2020「カムタイプ新作パフォーマンス2020」より)

鎌倉はいちど
行ってみたい所なので、
旅行気分味わえました!

(30代女性 企画展II「中也の住んだ町—鎌倉」より)

次々と予想外の展開が続き、
ひとときも目が
離せませんでした。

(カンパニーデラシネラ「ドン・キホーテ」より)

しようげき音と
動きがあつてほしい、
はく力があつてよかった。

(「ちゃんぶるー 私が幽霊!? 修学旅行」より)

4 April

5 May

6 June

※掲載内容は2021年3月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター
(YCAM)
https://www.ycam.jp/

3 ホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイド—虚無の声」展
※4/3、10、17、5/1、22、6/5、12、26関連トークあり
(本誌P2~7参照)

1 ワイカムシネマ「声優夫婦の甘くない生活」
(本誌P9参照)

16 ワイカムシネマ「声優夫婦の甘くない生活」
(本誌P9参照)

23 ワイカムシネマ「フジコ・ヘミングの時間」
(本誌P9参照)

4 「YCAMスポーツ共創実験スタジアム2021」+
「第6回 未来の山口の運動会」
(本誌P10参照)

7 ホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイド—虚無の声」展
関連上映プログラム「戦場のメリークリスマス」ほか
(本誌P10参照)

23 ホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイド—虚無の声」展
関連上映プログラム「戦場のメリークリスマス」ほか
(本誌P10参照)

山口市市民会館
http://www.yamaguchi-civichall.com/

10 DRUM TAO 「祭響=SAIKYO=」
(本誌P12参照)

中原中也記念館
https://www.chuyakan.jp/

開催中 第18回テーマ展示
「君に会ひたい。——中原中也の友情」

開催中 **11** 企画展II
「中也の住んだ町——鎌倉」

14 企画展I
「中也、この一篇——『正午』」
(本誌P11参照)

23 中原中也を読む会

29 中原中也生誕祭
「空の下の朗読会」
(本誌P8参照)

29 第26回中原中也賞贈呈式
(本誌P8参照)
会場：湯田温泉ユウベルホテル松政

~2022 / 2 / 13 (特別展期間中は除く)

~7 / 25

その他 (維新大晃アリーナ)
山口市維新公園4-1-1

30 「Witty LookのLife's a Circus!!!!」
(本誌P8参照)

25 中原中也を読む会

28 中原中也を読む会

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ (24時間受付)

https://www.ycfcp.or.jp/

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。

電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

TEL. 083-920-6111

窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネットでチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口

※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では
託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。
お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき700円、
2人目以降は1人につき500円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケット
インフォメーションまたは山口情報芸術センターにて
お申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。
事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分200円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで
(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにて
お申し込みください。満員の際は順番制となります。

any^{エニ}会員募集!

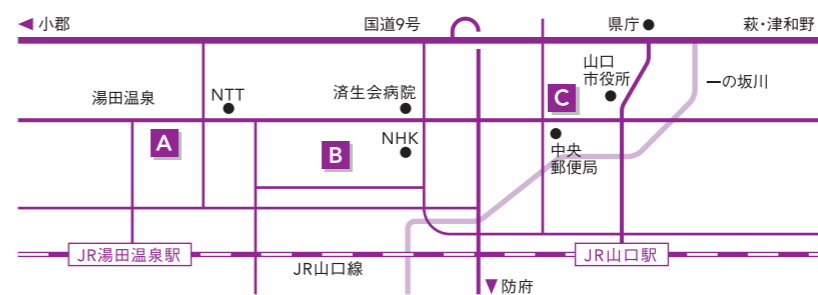
※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演
や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。
公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、
情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

山口市文化振興財団

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
https://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

前号の特集ページで取り上げたCo.山田うんによる最新作ダンス公演。総勢13名が踊る舞台は圧巻! 生の舞台を観る醍醐味を改めて感じました。[M.D]
やっとなつて気持ちの良い季節になってきたな、と思ったらくしゃみやみみずく。そろそろ深く花粉症と認める頃合いでしょうか…。[K.A]
ついに味覚と体質に合う味噌汁に出会い、毎日の炊事が楽しみに。気ままな日替わり味噌汁を麴の粒までいただくのが至福の時。[Y.I]



- A. **2** 長門峡
(中也は「冬の長門峡」という詩を書いています。長門峡までは当時の湯田駅から山口線を利用していただろうです。)



公 益 財 團 法 人
山 口 市 文 化 振 興 財 団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

